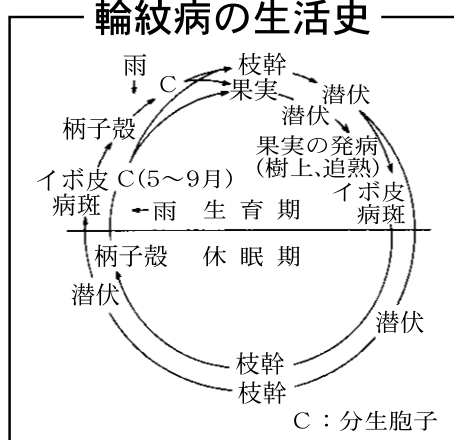
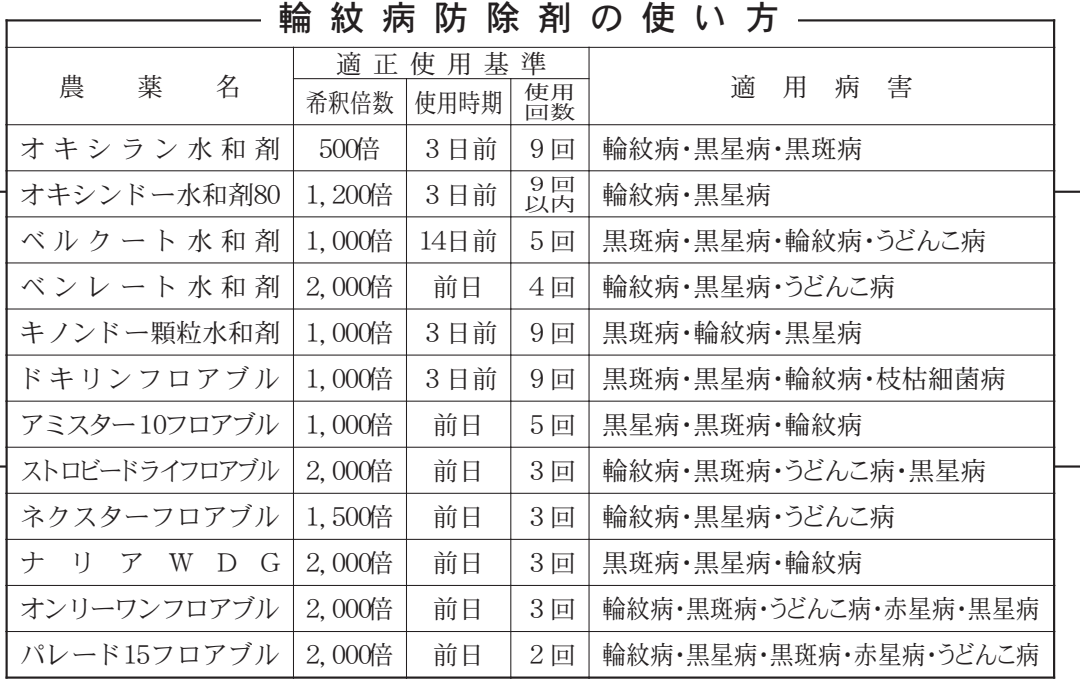


なし(ラ・フランス)

散布時期 (月 日)	適用病害虫	薬剤名 (水100ℓ当薬量)	10a当り 散布薬量	使用時期・回数		注 意 事 項
				なし	なし	
3月中旬 (月 日)	カイガラムシ類 カイガダ	水 (90ℓ) 展着剤 石灰硫黄合剤 10倍 (10ℓ)	250ℓ	発芽前		1. 散布前に必ず粗皮削りを行う。 2. 未結果樹にも散布し輪紋病、胴枯病を防ぐ。 3. カイガラムシ、ハダニが多い場合は、発芽前に、50倍スプレーオイルに、10倍石灰硫黄合剤を加用して散布してもよい。
3月下旬発芽直前 (月 日)	カイガラムシ類 ハダニ 輪紋病	水 (98ℓ) スプレーオイル 50倍 (2.0ℓ) ベンレート水和剤 2,000倍 (50g) アプロードフロアブル 1,000倍 (100cc)	250ℓ	発芽前 前日・4回 30日前・2回		1. ナシヒメシンクイガの発生の多い園では、被害芽をせん除する。 前回散布とは1週間以上あけて散布 2. カイガラムシの発生が多いので、アプロードフロアブルを加用する。
4月下旬開花直前 (月 日)	赤星病 黒斑病・黒星病 ハマキムシ	オンリーワンフロアブル 2,000倍 (50cc) フェニックスフロアブル 4,000倍 (25cc)	250ℓ	前日・3回 前日・2回		4月下旬から5月上旬は、天候不順が予想されるので、園地を注意して見まわしましょう。
5月上旬 (落花1週間後) (月 日)	黒星病 輪紋病 シンクイムシ類 アブラムシ類	オキシラン水和剤 500倍 (200g) サムコルフロアブル10 5,000倍 (20cc) モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍 (50g)	450ℓ	3日前・9回 前日・3回 前日・3回		1. 胴枯病の萎凋枯死花そうや枯死枝は、徹底して取り除き焼却する。 また、取り除いた後、トップジンMペースト(3回以内)もしくはバッチレート(3回以内)を塗布する。 2. 6月上旬までの乳剤散布は、果実にさびが発生したり、落果に及ぼす影響が強いため乳剤は散布しない。展着剤使用もさび果に影響するので注意する。
5月下旬 (月 日)	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ	ファンタジスタ顆粒水和剤 3,000倍 (33g) アグロスリン水和剤 1,000倍 (100g)	450ℓ	前日・3回 前日・3回		1. 胴枯病の感染しやすい時期(落花1週間後～6月上旬)にベンレート水和剤2,000倍(前日・4回)加用散布してもよい。
6月上旬 (月 日)	輪紋病 黒星病 アブラムシ類 ハマキムシ類 (表皮障害防止)	スコア顆粒水和剤 2,000倍 (50g) アルバリン顆粒水溶剤 2,000倍 (50g) ダニコングフロアブル 2,000倍 (50cc) クレフノン 100倍 (1kg)	450ℓ	14日前・3回 前日・3回 前日・1回 (-)		
6月中旬 (月 日)	輪紋病 シンクイムシ類 アブラムシ類 ハマキムシ類 (表皮障害防止)	展着剤 ベルコート水和剤 1,000倍 (100g) アーデントフロアブル 2,000倍 (50cc) クレフノン 100倍 (1kg)	450ℓ	14日前・5回 前日・3回 (-)		● 輪紋病・胴枯病の重要な防除時期のためこの時期より7月下旬までは、枝幹にも十分散布する。また、雨が降り感染が多くなるので、散布間隔を短くして、防除する。 ● カルベリーパワー(カルシウム液)は、石なし、尻ぐされの発生を防ぐため、1,000倍を散布する。(6/中・6/下・7/上に加用してもよい) ※ナリアWDGの注意点 ● なしに使用する場合、開花始めから落花20日頃までの散布は、葉に薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。 ● なし品種のル・レクチュには果実に薬害が生じるおそれがあるので、袋掛け後に使用してください。 ● ぶどう品種のピオーネ・藤稔・サニール・ジュ・シャルドネには葉に薬害を生じるおそれがあるので、周辺にある場合には注意してください。
6月下旬 (月 日)	輪紋病 黒星病 (表皮障害防止)	展着剤 インダーフロアブル 5,000倍 (20cc) クレフノン 100倍 (1kg)	600ℓ	7日前・3回 (-)		● オウトウに飛散するおそれのある園地では、オキシラン水和剤に変えて、ナリアWDG(2,000倍)を散布する。
7月上旬 (月 日)	輪紋病 コナカイガラムシ類 シンクイムシ類 アブラムシ類 (表皮障害防止)	展着剤 オキシラン水和剤 500倍 (200g) ヨーバルフロアブル 5,000倍 (20cc) トランスフォームフロアブル 2,000倍 (50g) クレフノン 100倍 (1kg)	600ℓ	3日前・9回 前日・2回 前日・3回 (-)		
7月中旬 (月 日)	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 (表皮障害防止)	展着剤 ドキリンフロアブル 1,000倍 (100cc) モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍 (50g) マイトコーネフロアブル 1,000倍 (100cc) クレフノン 100倍 (1kg)	600ℓ	3日前・9回 前日・3回 前日・1回 (-)		
7月下旬 (月 日)	輪紋病 アブラムシ類 シンクイムシ類 (表皮障害防止)	展着剤 オキシラン水和剤 500倍 (200g) テルスターフロアブル 3,000倍 (33g) クレフノン 100倍 (1kg)	600ℓ	3日前・9回 前日・2回 (-)		
	葉面散布材	カルベリーパワー 1,000倍 (100cc)				1. テルスターフロアブルにかえて、ロディー水和剤1,000倍(100g)を使用してもよい。
8月上旬 (月 日)	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類	展着剤 オキシラン水和剤 500倍 (200g) ディアナWDG 1万倍 (10g) カネマイトフロアブル 1,000倍 (100cc)	700ℓ	3日前・9回 前日・2回 前日・1回		
	葉面散布材	カルベリーパワー 1,000倍 (100cc)				
8月中～下旬 (月 日)	輪紋病 コナカイガラムシ類 シンクイムシ類 アブラムシ類	展着剤 ドキリンフロアブル 1,000倍 (100cc) エクシレルSE 2,500倍 (20cc)	700ℓ	3日前・9回 前日・3回		
	葉面散布材	カルベリーパワー 1,000倍 (100cc)				1. この回以降も雨が降り多い場合には、輪紋病の感染が多くなるので、散布間隔を短くして防除する。
9月上旬 (月 日)	輪紋病 ハマキムシ類 シンクイムシ類 アブラムシ類	展着剤 ナリアWDG 2,000倍 (50g) バイスロイドEW 2,000倍 (50cc)	700ℓ	前日・3回 7日前・2回		1. 輪紋病や胴枯病は樹勢が弱いと発生しやすいので凍寒害や野そ害の防止対策、除草等肥培管理を徹底する。
9月中～下旬 (月 日)	輪紋病	展着剤 ストライド顆粒水和剤 1,500倍 (66g)	700ℓ	前日・3回		1. 日本なしには薬害のおそれがあるので飛散しないように注意する。 2. 9月中旬に高温が続いた場合、シンクイムシの発生が心配されるので、テッパン液剤2,000倍(前日・2回)を加用散布してもよい。
収穫前 (月 日)	輪紋病	展着剤 アミスター10フロアブル 1,000倍 (100cc)	700ℓ	前日・5回		
11月下旬 (月 日)	黒斑病	展着剤 ベフラン液剤25 250倍 (400cc)	250ℓ	休眠期・1回		1. いぼ皮病斑の多い園で散布する。



注意事項 農薬の使用にあたっては必ず商品ラベルの表示を確認し、ラベル記載どおりに使用して下さい。

西洋なしの生態調査

(山形県農業総合研究センター園芸試験場調査)

品 種	発 芽 期			展 葉 期			開 花 期									収 穫 期			備 考
							開 花 始 期			満 開 期			落 花 期						
	5年	4年	平年	5年	4年	平年	5年	4年	平年	5年	4年	平年	5年	4年	平年	5年	4年	平年	
ラ・フランス	3/19	3/27	3/24	4/6	4/13	4/19	4/13	4/22	4/25	4/18	4/25	4/27	4/26	4/30	5/3	10/20	10/14	10/16	
シルバーベル	3/16	3/28	3/25	4/5	4/13	4/17	4/16	4/24	4/27	4/20	4/26	4/29	4/28	5/4	5/5	10/30	10/25	10/27	